

次世代ターゲットスポーツの育成支援事業概要および
AJTA における次世代ターゲットアスリート選考基準について

当協会では、独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）が実施する「次世代ターゲットスポーツの育成支援委託事業」に以下の内容で申請し、2019 年度から採択されております（中絶時期あり）。

【内容】

五輪階級での男子 58kg 級、女子 49kg 級をターゲット階級とし、2022 年度までにメダルポテンシャルアスリート（MPA）の最大化を目的とした戦略として、「所属チームと連携した一貫指導体制の構築」及び「年間を通じたフィジカル強化」を実施する。

現在、2019 年度に定めたターゲットアスリートの選考基準 1) ～ 10) に基づき、強化指定選手の中から 7 名の選手をターゲットアスリートとして認定していますが、2021 年度、本事業をより加速させるにあたり、同選考基準を一部拡大し、基準を満たす選手を「ターゲットアスリート A」として選出予定ですのでお知らせいたします。

※ターゲットアスリート選考基準 1) ～ 10) については、p3 本事業概要のターゲットアスリート選考基準をご参照ください。

【追加予定^{※1}の基準】

1 1) 全日本選手権大会 優勝者^{※2}

※11) は次世代ターゲットアスリート A の選考基準とする。

※優勝者が 1)～10)いずれかの基準を満たしている場合は 2 位選手も選考対象に含む。

※1 「予定」としているのは、最終的に JSC から変更について承認頂けた後に確定となるため（3 月末予定）。一方、全日本選手権大会は 3 月 8 日に開催することから、先行してお知らせしております。

※2 男子においては 54 kg 級・58 kg 級・63 kg 級、女子においては 46 kg 級・49 kg 級・53 kg 級に限ります。

以下、本事業の概要等です。

◆「次世代ターゲットスポーツの育成支援」事業とは（JSC ホームページより抜粋）

・本事業は戦略的強化事業であり、我が国のアスリートが将来、新たにメダルを獲得する可能性のある競技種目をターゲットスポーツとしている。これらのターゲットスポーツが作成する「次世代アスリート強化・育成プラン」に基づく集中的な育成・強化活動を推進する。これらの活動を通してメダル獲得競技種目の育成・開発を図り、日本の国際競技力強化に寄与する。

・2024年オリンピック・パラリンピック競技大会(パリ)および2026年オリンピック・パラリンピック冬季競技大会に向け、育成・強化に関する戦略立案、実施、検証・評価、改善といった一連の取り組み(PDCA サイクル)を実施し、「MPA 数の最大化」「2024年意向を見据えた、新たな育成・強化システムの確立」を目指す。

・本事業は平成26年度文部科学省受託事業「2020ターゲットエイジ育成・強化プロジェクト(ジュニア・ターゲットスポーツ育成・強化)から始まり」、平成27年度「ジュニア・ターゲットスポーツの育成・強化」、平成28年度「次世代ターゲットスポーツの育成・強化」、平成29年～30年度「次世代ターゲットスポーツの育成支援」を経て、今までに15ターゲットスポーツに対し活動を実施してきた。平成30年度末において、2020大会向けの12ターゲットスポーツへの支援を終了し、新たに2024年大会向けの7ターゲットスポーツを加え、事業を推進する。

■ 独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）web サイト

<https://www.jpnsport.go.jp>

<https://www.jpnsport.go.jp/corp/Portals/0/News-Release/H31/190508.pdf>

◆当協会における事業概要

Vision：メダルポテンシャルスポーツの最大化

Mission：①MPA(メダルポテンシャルアスリート)の最大

②育成・強化システムの確立

・2024年を見据えた次世代アスリートに対する戦略的な育成・強化活動を実施。

◆ターゲットアスリート選考基準(ターゲットアスリート S および A) 【2021 年度予定】

男子 58 kg 級は、54 kg 級・58 kg 級・63 kg 級、女子 49 kg 級は、46 kg 級・49 kg 級・53 kg 級の試合結果及び出場権獲得を対象とし、下記 1)～11)の基準のいずれかを満たした場合、次世代ターゲットアスリート S および次世代ターゲットアスリート A としての選考を行う。

- 1) オリンピック競技大会 ベスト 16 以上
- 2) 世界選手権大会 ベスト 16 以上
- 3) ユースオリンピック競技大会 ベスト 8 以上
- 4) 世界ジュニア選手権大会 ベスト 8 以上
- 5) ユニバーシアード競技大会 ベスト 8 以上
- 6) 世界グランプリ ベスト 8 以上
- 7) アジア競技大会 メダル獲得
- 8) アジア選手権大会 メダル獲得
- 9) アジアジュニア選手権大会 メダル獲得
- 10) オリンピックランキング上位 31 人が出場できる世界グランプリへの出場
※ 開催国枠による出場は、10) に該当しないものとする。
- 11) 全日本選手権大会 優勝者
※11) は次世代ターゲットアスリート A の選考基準とする。
※優勝者が 1)～10)いずれかの基準を満たしている場合は 2 位選手も選考対象に含む。

以上